

# 正法寺新聞

第1号



阿弥陀仏の光は  
大空を雲がかけめぐるように  
いかなるものにもさまたげられない

2012年7月発行

住職継職披露法要・正法寺開基400年慶讃法要厳修

9月28日(金) 住職継職披露法要 午前10時より

9月29日(土) 正法寺開基400年慶讃法要

午前10時より

≪御講師 中川 正法師 筑紫女学園大学教授≫

※9月29日(土)午後4時より本堂にてタテタカコライブ開催

発行 真宗大谷派 正法寺

長崎県大村市杭出津2-708 0957-52-2247

【正法寺新聞、発刊です】

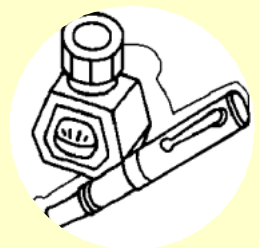
今年、婦人会からの会報を初めて発刊しました正法寺ですが、この度、お寺全体の新聞を発刊することになりました。御門徒の皆様へのよき情報発信の場となりますよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

住職継職披露法要  
開基四百年慶讃法要

正法寺では九月に二十代住職から二十一代住職への継職法要及び、正法寺開基四百年のお祝いの法要を厳修致します。詳細は8月下旬に各御家庭に配布致しますが、今回の法要には出席の確認がございませぬので、ご案内を読まれ、ご出席の方は必ずご連絡をお願い致します。また、最終日の記念ライブに閉してはこの新聞最終頁にて詳細を載せておりますので、ご覧下さい。

住職挨拶

白露も こぼさで萩の うねりかな (芭蕉)



お寺の庭の紅萩の美しい季節となりました。それぞれにいつぱいの白露をのせて、風の吹くままに右に左にゆれています。葉っぱの上の露も右に左にころがりませんが、こぼすことなくしつかりと受け止めています。私たちの人生これからなにが起るか、なにが待ち受けているかわかりません。しかしどのような事が私の身の上で起っても、どのような災難が来ても、動転しない振り回されない。またどのような厳しい環境が与えられても絶望しない、自暴自棄しない、そこに満足して惑わぬ、そういう人生の智慧と力をお念仏の働きのよつて、一人一人の身に頂くことが大事なことと思うことです。親鸞聖人は我が身に起る一切のことを、たくましく明るく引き受けてゆく、智慧と力を『信心』<sup>しんしん</sup>というと教えて下さいました。

いよいよ今年九月、住職継職披露法要、正法寺開基四〇〇年慶讃法要を厳修致します。歴代の住職の願いは、ただ正法寺門徒であるだけでなく、正法寺門徒であつて、真宗門徒といえる念仏者が一人でも多く生まれてくださるということでした。その代々の願心を受け継ぎ、正法寺が、与えられた人生を明るくいきいきと涅槃の岸に向かつて生き抜いて行く信心の人を生み出す念仏道場となることを念じ、この度の法要を大切に迎えたいと思うことです。

【総代長挨拶】

正法寺総代長 福山 博文

(池田)

このたび正法寺におかれましては、第二十代から第二十一代住職に引き継がれることになりました。門徒代表としてお慶び申しあげます。私達門徒は、開基四百年の歴史ある正法寺を念仏道場として、宗祖親鸞聖人の教えをいただいで参りました。今後も今まで同様、真宗門徒として聞法に励みたいと思います。

正法寺では年間に十二回余りの法要が勤まりますが、いつでも本堂に座し、朝夕のお勤めを欠かすことのないよう、また、気軽に南無阿弥陀仏の言える身になることが大切なことだと心得ています。

第二十一代住職のご就任を祝し、今後共、ご指導賜りますようお願い致します。また、この度発刊されましたこの新聞が御門徒の皆様のお役に立ちますことを、願っております。



正法寺近況

住職・坊守懇志により本堂を支える柱の取り替えを行っております。



住職挨拶にもあるように、6月、お庭の紅萩が見ごろになりました。



なかなか御話しできていないことも十分な時間の中で聴いていただけます。次回は十一月です。ぜひ一度、御参加下さればと思います。

今回は、一月に行った『勤行講習会』についてです。『勤行講習会』では、基本的に「正信偈」の読み方を中心に勉強しています。身近なお経とはいえ、細かく学習していくと勘違いしている事も多く、「何度出席しても勉強になる。」と言う方もおられます。また、この講習では、お内仏の給仕の仕方なども講義しております。年間通しての給仕の仕方など、普段

お寺の行事から

# 洗心

洗心婦人会発行  
会報 第2号

## いあつわじ

今回より、洗心婦人会々報を正法寺新聞とご一緒にお届けします。前回同様、婦人会活動の様子を、写真などを多く取り入れながら、会員の皆様や、またそうで無い方々にもお伝えしていきます。

### 〈これまでの婦人会行事〉

- 三月 春彼岸お齋作り
- 四月 永代経お齋作り
- 五月 春の婦人会法要（二日間）

※一日目 5月13日(日)  
 积尊降誕法要・新生児初参り式  
 子ども花祭り

※二日目 5月14日(月)  
 婦人会々員物故者追悼法要  
 (昨年度中に亡くなられた会員の追悼法要)

御講師 (両日共に、**崎戸の真蓮寺**  
**寺本温師**)

### 〈活動報告〉

三月・四月の法要／お齋作り



法要中日のお齋 (昼食) 作り。  
 毎回十数名の方が来られます。法要前の清掃奉仕日にお聞きしていますので可能な方は、ぜひご参加下さい。

### 五月の法要

婦人会主催春の法要は二日間です。世代を超えて、多くの方に参加頂いております。  
 一日目 积尊降誕法要

法要前日。立福寺の方々から、「母の日前にもかかわらず、たくさんお花が届きました。」



法要当日、まず积尊降誕法要。婦人会以外の方もお参り出来ます。ぜひ来年ご参詣下さい。

### 初参り式



### 子ども花祭り

子ども花祭りは参加人数が多く、とても賑わいました。先生のお話を聴き、ゲーム、婦人会による紙芝居、若坊守による絵本と手遊びを楽しみました



〈活動報告〉 続き

五月の法要

■二日目 婦人会々員物故者追悼法要

五月の法要二日目は、前年度に亡くなられた婦人会員のご遺族をお呼びし、追悼法要を行っています。御講師は一日目に続き寺本先生でした。午前中は本堂にてご法話を聴き、会議室にて婦人会員の用意した昼食をご遺族と共に頂きました。

午後からは、会館にて、毎月の学習会で使用している『書いて学ぶ正信偈』をテキストに寺本先生よりお話頂きました。続けて二日間、本当にお疲れ様でした。



正法寺にある釈尊降誕の像。鎌倉時代のものだそうです。

若院が語る・

正信偈を知ろう! 第2回

『正信偈』は、正確には『正信念仏偈』

といえます。「偈」とは、仏の教えや徳を

讃える詩のことです。ですから『正信偈』

というタイトルの意味は、「念仏の教えを

正しく信じるためのうた」といったところ

でしょうか。今回はこの『正信偈』

の概要をお話します。

「正信偈」は次の通り、3つの段

落に分けられます。

① 総讚

帰命無量寿如来、南無不可思議光

(赤本3頁)

② 依経段

法蔵菩薩因位時、難中之難無過斯

(赤本3頁)

③ 依釈段

印度西天之論家、唯可信斯高僧説

(赤本14頁)

まず「総讚」と呼ばれる最初の2句です

が、どちらも「南無阿弥陀仏」というお念

仏を別の言葉で言い表したものです。阿弥

陀仏の徳を讃えると同時に、お念仏の教え

を信じ依り処としていきますと、親鸞聖人

自らの信心を表明されている所です。

次の「依経段」ですが、ここは

『仏説無量寿経』という経典を拠り処とし

た段落です。阿弥陀仏がまだ仏に成られる

前、法蔵菩薩と名乗られていた時の話から

始まり、阿弥陀仏の本願の由来や、お釈迦

様がこの世にお出ましになった意味などが

説かれています。そしてこの段落の最後に

は、お念仏の教えを正しく信じたもつこと

は「難中之難(困難の中の困難)」だと結

ばれ、次の「依釈段」へと続くのです。

最後の「依釈段」は、インド・中国・日

本の7人の高僧が書かれた注釈書を依り処

とし、7人の高僧がお念仏の教えをどのよ

うに伝えて下さったかを説かれています。

正しく信受することが非常に難しいお念仏

の教え、それを日本の私の所にまで伝えて

下さった7人の高僧、その徳を讃え、ただ

この高僧の説を信ずべし(唯可信斯高僧説)

と、素直に信順することを勧めてくださっ

ているのです。インドから日本にまで伝わっ

てきた「南無阿弥陀仏」の歴史と伝統を讃

え、真実の教えに出遇った歓びを表明した

うた、それが『正信偈』なのです。

婦人會學習會（信樂會）、  
順調に進んでいます

今年2月よりスタートした新しいテキストでの婦人會學習會（信樂會）、多くの方に参加いただき、順調に学習を進めています。信樂會は、毎月28日の13時30分から行っており、テキストは、東本願寺出版【書いて学ぶ親鸞のことば／正信偈】を使用しています。写経のように鉛筆でなぞる時間も取っております。

復習もしておりますので、初めての方も、随時ご参加お待ちしております。



→こちらが使用中のテキストです。正信偈をなぞって書いて、学んでいます。



### 春の婦人會法要に参加して

森内 昭子（植松）

一人の例外もなくお釈迦様と同じ値打ちで生まれて来たこと、命の尊さを考えるこの行事で、初参りのお子様を囲む家族の表情にそれを確認した。ひとの命を簡単に奪う出来事の多い昨今、指示通りに正座し、小さい手に念珠をかけて整列する子供達の姿を見た時、命の尊さも大人の導き方で子供の心底に深く刻み込まれるのではと感じた。花御堂の誕生仏に甘茶を注ぎながら、私をこの世に生んでくれた両親達にどれ程感謝したろうか、本当に周囲の人達を大切にしようかと反省し、自他の命を本当に尊重する生き方をされたお釈迦様の教えを頂く生活をしていきたいと思った。

### 婦人會學習會に参加して

山口 博子（杭出津）

私は、日々のお勤めをする中、正信偈の意味も余り分からずに今に至っております。テキストのお手本をなぞって書き、音読するこの講座では、意味の説明を更に砕いて話して下さいます。自分勝手な解釈に気付き、謎だった言葉が少しずつ分かるようになりました。ひと月に1ページの歩みですが、皆さんと一緒に学んでいきたいと思ひます。

寄

稿

### 若坊守の 余談コーナー



春のある日、婦人會員の渡辺ツヤ子さんの御宅におじゃましました。立派なクンシラン、庭の花々を見せて頂き、日々育てることの大変さ、大事さを教わりました。



● 次回の婦人會行事は、秋の永代経最終日の『敬老會』です。満七十五才以上の方（男女問わず参加可能）です。ぜひ御繰り合わせ御参詣ください。

● 婦人會々報【洗心】では、婦人會に関する寄稿文や、質問・御要望を募集しています。いろんな方の意見を取り入れ、よき會報にしましょう。

◆ お寺の行事予定

📅 これまで

(平成24年1月～6月)

📅 これから

(平成24年7月～12月)

6月	5月	4月	3月	2月	1月
	13 婦人会法要 初参り式 子供花祭り 14 婦人会法要 物故者追悼法要	20～24 永代経法要	17～21 彼岸会	12～13 春の親鸞講座	15 総代講演会 28 婦人会初会
12月	11月	10月	9月	8月	7月
1～5 御正忌法要	4～5 秋の親鸞講座	20～24 永代経法要 婦人会主催敬老会 (永代経最終日)	28 住職継職法要 29 開基400年法要	13～15 盆法要	26～28 作上がり 盆法要

◆ 書籍紹介



『お内仏のお給仕と心得』 東本願寺出版/500円  
真宗門徒必携の書。正しいお内仏のお給仕、勤行、莊嚴の仕方を写真入りで解説。



『マンガ親鸞聖人』 難波別院/3000円(全3巻)  
親鸞聖人の御一生と言えば昨今は五木寛之さんの著書が有名ですが、活字が苦手な方にお勧めします。



『門徒もの知り帳上下』 法蔵館/600円(上下共)  
仏前でリンはなぜ打つ?といった作法のこと、地獄はどんなところ?という教えに関すること、質問に回答していく形で解説。素朴な疑問が解決します。

※全て正法寺にて販売しております。

◆ 参加しませんか？

▽法要前の清掃奉仕  
お寺からお送りしている法要の御案内状で、日時などをご確認の上、ご参加下さい。近年、男性の参加者が減っておるようなので、男性の方も是非ご参加ください。

▽ビデオ学習会  
毎月一回、「ビデオ学習会」を行っております。対談や、Zエスの番組など、初心者の方でも気軽に学習出来る内容ですので、是非ご参加下さい。詳しくはお寺の方にお尋ね下さい。

◇編集後記◇

いよいよ正法寺では継職法要が勤まります。それに併せての新聞発刊でしたが、いかがでしたでしょうか。今後はもっと、御門徒の方々の文章なども多く載せていきたいと思っておりますので、法要・行事の御感想文、寄稿文などをどうぞお寄せ下さい。

(編集責任者・若坊守)

タテタカコ  
く え い っ し ょ  
～ 倶 会 一 処 ラ イ ブ ～

タテタカコさんは、正法寺と同じ真宗大谷派系列の飯田女子高校（長野県）出身です。在学当時不登校であった際、仏法に触れ、自分自身を深く見つめる機縁に出遇われました。そのような経緯もあり、タテさんの歌には、自分自身と真摯に向かい合った歌が少なくありません。仏教の学校に通って知った、『自分の物差しで人や周りを計らない』『物事は結果ではなく過程が大事』という言葉大切にしているタテタカコさんの歌を、ぜひ本堂で聴いてみて下さい。また「倶会一処」とは、「共に一つの処で会う」という意味です。この機会に、あらゆる世代の方に本堂に上がって頂きたいと思っています。どうぞお孫さんまで幅広くお誘い合わせの上、ご来場下さい。



タテタカコ／プロフィール

長野県飯田市出身・在住のシンガーソングライター。国立音楽大学音楽教育学科卒業。2001年頃から、地元・長野を中心にライブ活動開始。映画『誰も知らない』（2004年/是枝裕和監督）の挿入歌「宝石」、『アルゼンチンババア』（2007年/長尾直樹監督）の主題歌「ワスレナグサ」をはじめ、CM曲として「君は今」（パナソニック企業）、「遠い日」（信濃毎日新聞社）、「帰路」（ピタットハウス）なども手掛ける。ハードコア・パンクからアヴァンギャルド・ポップまで、多彩な音楽性が特徴。

場所／ 正法寺本堂

日時／ 9月29日（土） 開場16時・演奏スタート17時

チケット／ 1枚100円（ドリンク引換券付）が必要です。

- ◆ 演奏開始までの間、正法寺にて夕涼みのひとときをお過ごし下さい。
- ◆ 駐車場に限りがあります。乗り合わせ、公共交通機関のご利用をお願いします。

お問い合わせ先 : 080-5090-2434（長野文）  
e-mail: amagiaya@ezweb.ne.jp